

(日曜通信から上のように改題しました。さて、ジジとは何かな?)

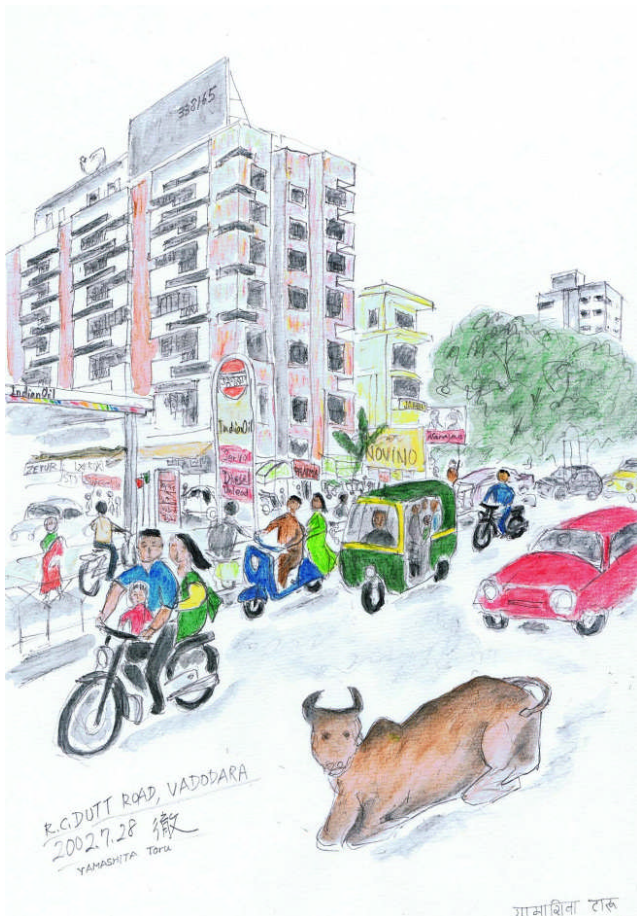


イスラエルの核兵器は問題にしないの？

去る8日、米ロはプラハで新核軍縮条約に調印しました。この条約では、実戦配備の戦略核弾頭を米国2252発、ロシア2787発から、両国とも1550発までにします。又、ICBMや戦略爆撃機等の運搬手段の上限を700とします。これでは実戦配備の核兵器を少し減らすだけ。核軍縮と云うなら、1桁核兵器を減らして貰いたいものです。特に、新条約では保管核弾頭の数には制限がありませんし、ICBMなど核兵器運搬手段毎の核弾頭数搭載可能数の制限もありません。これでは、いつでも保管している核弾頭をICBMに積み増しすることが出来ます。又、ロシアの現在の核兵器の運搬手段は620ですから、この条

約で増強できることとなります。何か名前だけ「核軍縮」と云っているだけのようには思えますが皆さんはいかがでしょうか？

そして、核テロ防止サミットも開かれました。これらの一連の動きから、アメリカがイランの核開発を問題にして何とか制裁しようとしているように見えます。でも100~200発の核兵器を持つと云われているイスラエルの核開発には一切触れようとしません。ガザ地区でのイスラエル兵の蛮行など安保理に議題として上程されても、アメリカは即座に拒否権を使い討議さえさせません。中東諸国がアメリカにいらだつのも分かる気がしますが皆さんはいかがですか？



「R. C. Dutt 通り」

2000年頃から毎年2回くらいインドに出張にしていました。場所はムンバイ（昔ボンベイと云ったところ）の北350キロにあるヴァダーラという大都会でした。この絵は、その街の目抜き通り。街はとっても活気があります。バイク、オートリキシャ（昔のミゼットのような三輪車）、そして、自動車が、少しでも隙間があれば割り込もうとちょこちょこ走っています。でも、その道に牛は悠々と座り込んで反芻。その牛に警笛を鳴らすでもなく、バイクも、自動車もそっと避けて通ります。蚊が飛んでいると、我々は両手でパチンと潰しますが、ヒンズーの教えなのか、彼らは片手で、蚊を追いやるだけです。